

医療ロボットダイバーシティ学会 設立記念シンポジウムーオンライン開催

2022.3.13
13:00～16:30

テーマ「**進化する医療ロボットの未来**」

開会あいさつ 学会理事長 森照明（西別府病院名誉院長）

プログラム・シンポジウム

1. **大畑光司** 京都大学大学院講師 「ロボットが医療介護に与えるインパクトーリハロボットやロボット介護機器が変える在宅ケア」（動画参加）
2. **木許心源** AI 医学者・（株）健康資本 取締役社長
「AIとロボティクスが創る医療先進国の未来」
3. **馬奈木俊介** 九州大学主幹教授 国連「新国富報告書」代表
「SDG s における医療ロボットの役割」
4. **山海嘉之** 筑波大教授・CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長／CEO
「近未来ロボット共生社会の展望」
5. **國本桂史** 名古屋市立大名誉教授・医療デザインディレクター
「ヘルステックとロボット」

申し込み方法：以下 URL または QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/nHNfqD6mAfYjeuYp7>

締切 3月10日（木）※ZOOM 招待は3月7日（月）
以降にお送りいたします。

参加費
無料



主催 医療ロボットダイバーシティ学会 ・（一社）九州先端リハケアクラスター推進機構
共催 大分県医療ロボット・機器産業協議会
事務局：木許森メディカルホールディング
連絡先：毛利隼斗 hayato@hayato.org TEL 090-7535-9380

シンポジスト略歴



大畑 光司 (おおはた こうじ)

所属：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻略歴：

学歴)平成6年、京都大学医療技術短期大学部理学療法学科卒業。学位授与機構にて学士(保健衛生学)授与、大阪教育大学大学院教育学研究科にて修士修了後、平成22年に京都大学医学研究科医学専攻にて論文博士(医学)

職歴)平成6年に大阪府立大手前整肢学園勤務、平成9年に大阪府立看護大学医療技術短期大学部(現 大阪府立大学)助手を経て、平成11年に京都大学医療技術短期大学部の助手となる。現在、京都大学大学院医学研究科人間健康科学専攻講師。

資格・免許：理学療法士

所属学会：一般社団法人日本神経理学療法学会理事長、一般社団法人日本理学療法学会連合副理事長、公益社団法人日本理学療法士協会標準評価作成部会部会長、日本リハビリテーション医学会会員、日本義肢装具学会正会員

主な著書：歩行再建 -歩行の理解とトレーニング- (三輪書店)

1. 脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション (メディカルビュー) その他



木許 心源 (きもと しんげん) 東京都出身

神学者、人工知能学者、図書館情報学者、英語・スペイン語・ラテン語担当

株式会社木許森メディカルホールディングス 代表取締役社長

株式会社隼斗 取締役会長 古賀マネージメント総研株式会社 社外取締役

ふくおかフィナンシャルグループサステイナブルスケール(株)シニアアドバイザー

University of Toronto (トロント大学) 神学部卒業

Cardinal Carter Academy for the Arts (トロントカーディナルカーターアカデミー芸術高校) 卒業。大学卒業後は米国のブルームバーグ社・調査部門での戦争紛争を中心とした情報分析官を経て、国内銀行傘下のシンクタンクへ転職し、学術調査・児童福祉政策・市場調査を担当。2009年からはカナダ・トロントのビジネスカレッジ校長を務めた。2017年株式会社隼斗を設立。国内初の多言語医療シソーラス自然言語処理を開発し、子ども難病ナビ(第16回大分県ビジネスプラングランプリ受賞)をリリース。

2019年医療系ベンチャー企業5社を傘下に置く、

株式会社木許森メディカルホールディングスを脳神経外科専門医と共同で設立

トロントで専攻した神学と図書館情報学に加え、イエズス会・上智大学との共同研究(イエズス会特任研究員)、6代目ロシア正教徒、ロシア正教上の杉原千畝との関係によって100を超える欧米の医療・研究機関から多大なる信用を得ている。

イエズス会特任研究員、情報知識学会会員



馬奈木俊介(まなぎ しゅんすけ) (九州大学都市研究センター長)

九州大学主幹教授、工学研究院教授、総長補佐。

第 25 期日本学術会議会員及びサステナブル投資小委員会委員長。国連「新国富報告書」代表、国連「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」代表執筆者、国連「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム」(IPBES) 統括代表執筆者、OECD 貿易・環境部会副議長、2018 年・世界環境資源経済学会共同議長などを歴任。第 16 回日本学術振興会賞受賞。

著作物: 「ESG 経営の実践」、「SDGs の実践」、「新国富論」、「持続可能なまちづくり」、「豊かさの価値評価」、「幸福の測定—ウェルビーイングを理解する」。



山海 嘉之 (さんかい よしゆき)

筑波大学教授・サイバニクス研究センター 研究統括・未来社会工学開発研究センター/F-MIRAI センター長

CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO

1987 年筑波大学大学院修了。工学博士。筑波大学機能工学系講師、助教授、

米国 Baylor 医科大学客員教授を経て、現在、筑波大学システム情報系教授、

サイバニクス研究センター研究統括、未来社会工学開発研究センター/F-MIRAI センター長、CYBERDYNE (株) 代表取締役社長・CEO。

世界初の装着型サイボーグ「HAL」を研究開発した功績で知られる。

スウェーデン王立工学アカデミーフェロー、日本ロボット学会フェロー、計測自動制御学会フェロー、日本栓子検出と治療学会理事、世界経済フォーラム Global Future Council、Global Precision Medicine Council、第四次産業革命センター (サンフランシスコ本部) パートナー。

世界テクノロジー賞、Edison Award、内閣総理大臣賞、紫綬褒章 (新学術領域「サイバニクス」の創生と装着型サイボーグ分野の確立) など受賞歴多数。



國本桂史 (くにもと かつし)

デザインディレクター、インダストリアル・デザイナー

公立大学法人 名古屋市立大学大学院 名誉教授

三菱自動車開発本部にて、パジェロ、デリカなどのデザイン開発に従事。

2006年（公大）名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授 先端芸術工学論

慶応義塾大学大学院 理工学系 デザインプロジェクト医療班 リーダー

経済産業省 戦略的デザイン活用研究会 主査

経済産業省 感性価値創造イニシアティブ 委員・タスクフォース G 長

重要研究プロジェクト「知の拠点」 知的ロボット研究会・主査

中部経済産業局 ヘルスケア現場まるごと検討会で委員長。

中部経済産業局 医療・介護・福祉現場まるごと検討会・委員長

70年間改良されなかった医療機器を「新・喉頭鏡」として研究開発し市場投入

経済産業省 グッドデザイン賞 G マーク 審査委員・医療機器部門 審査長

2014年名市大医学研究科・教授、医療デザイン研究センター及び医療デザイン研

究開発機構を開設 2017年臨床医療デザイン学分野設立。

国立研究開発法人国立成育医療研究センター 研究所医療機器研究開発部 部長

2020年4月医学研究科脳神経外科分野客員教授

多くの海外・国内のデザインアワードにおいて審査委員長、審査員を歴任。

グッドデザイン賞(日本)、グッドデザイン賞(米国)、iF 賞(ドイツ)、red dot 賞(ド

イツ)、PIN UPP 賞(韓国)、東莞カップ賞(中国)、Successful Design Awards (中

国)年度最成功設計賞、Good Design Award® Product Design Medical and Scientific

部門 Best in Category (オーストラリア)など世界のデザイン賞を多数受賞

参考資料:学会の特徴・位置づけー多様性への対応(森)

